

8班 メンバー紹介



藤田 修平



蓮沼 舜矢



麓 国広



斜森 優輝



加古 捺巳



山本 翔太

2018.02.09(Fri)

都市計画マスタープラン策定実習 計画班



育むまち土浦

～ひとがまちを、まちがひとを育む～

第8班 TA 佐藤慧一

藤田修平 加古捺巳 斜森優輝 蓮沼舜矢 麓国広 山本翔太

発表の流れ

1 | はじめに

2 | 基本構想

3 | 提案一覧

4 | 提案内容

- ・ 保育中継所システムの導入
- ・ 学生地域交流施設「GATHER」
- ・ リバーサイド土浦
- ・ 農業

5 | まとめ

基本構想



育むまち土浦
～ひとがまちを、まちがひとを育む～

提案一覧	解決される課題	対象地区
保育中継所の設置	人口流出・少子高齢化	南部地区
学生地域交流施設 「GATHER」	土浦駅周辺賑わいの喪失・中心市街地の空洞化 市民協働の参加者の属性の偏り	中央地区
リバーサイド土浦	自然環境に対する市民の評価が低い 資源を活かしきれていない 水辺の景観	水辺地区
農業	耕作放棄地が増加している 農業の新規就農者・後継者不足・採算性の低さ 地球温暖化	新治地区
グループタクシーの導入	自動車社会 日常の買い物が不便な地域がある 中心市街地までのアクセス	全地域
市民サポートアプリ 「つちサポ」	刑法犯数が多い 少ない協働新規事業 市民協働の手軽な活性化方法がない 防災の対策の大部分がハードより 高齢者福祉の担い手が少ない	全地域
インランドポート	さらなる成長のチャンスを逃している	神立地区
上記の提案の結果	財政破綻の危機 公共施設・インフラの維持管理の困難	

育

×

南部

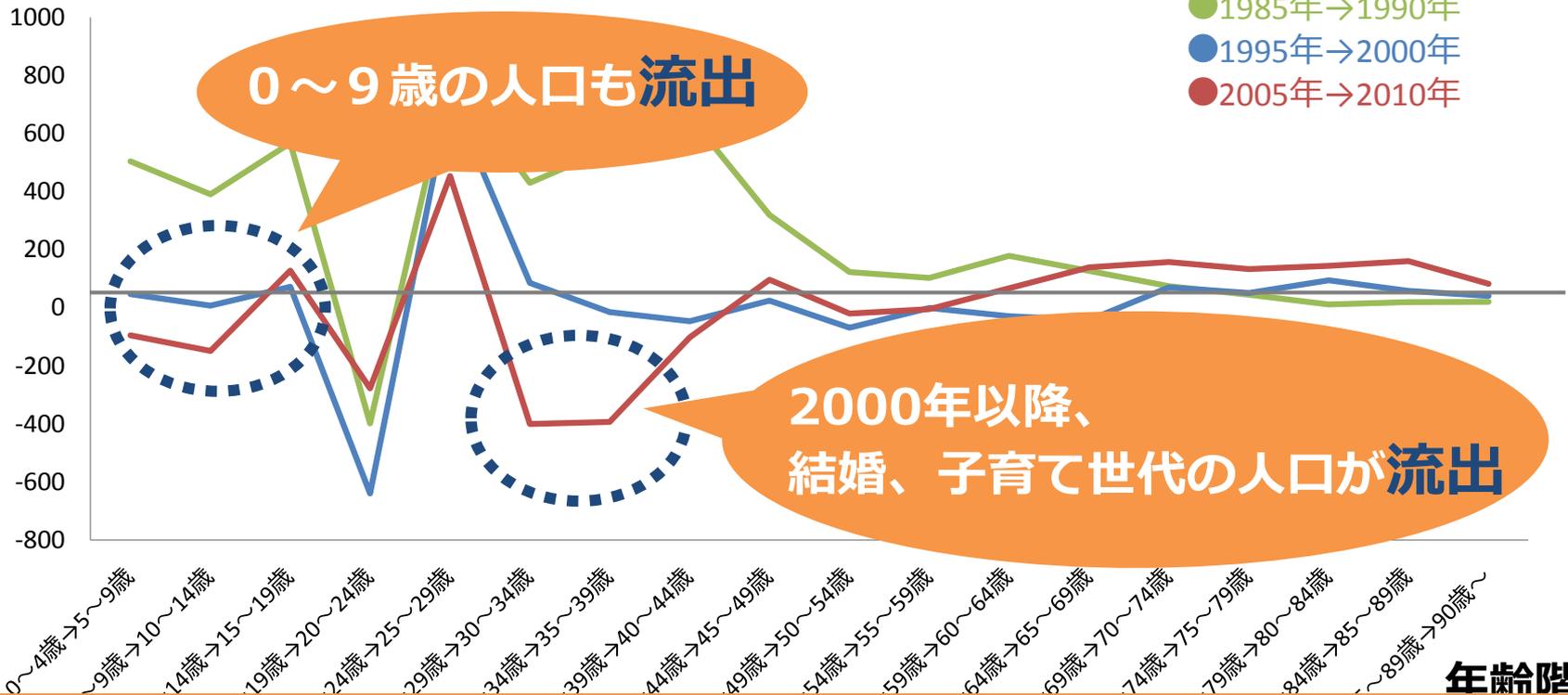
～子育てにやさしいまちを育む～

現状・背景

課題 人口流出・少子高齢化

◇土浦市 年齢階級別純移動数の時系列分析

増減人数 (人)

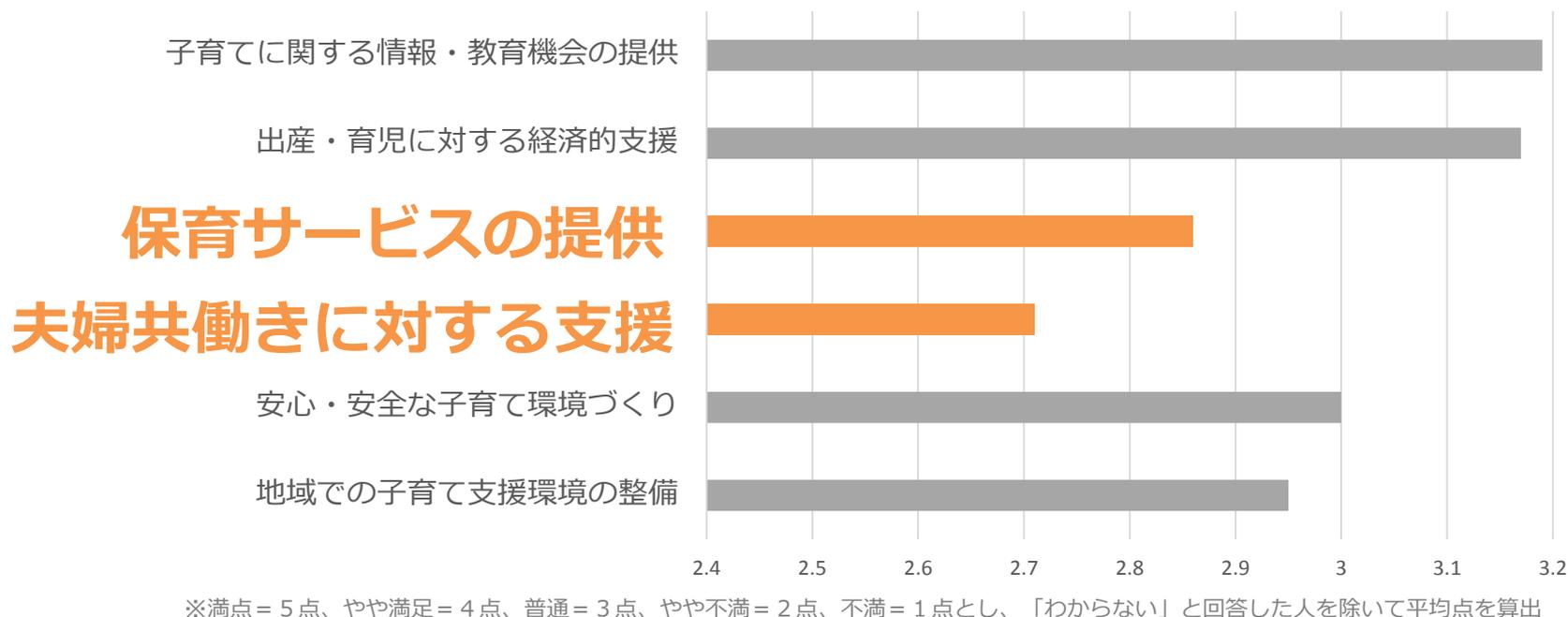


夫婦とその子供が転出しているのでは？

子育て世代なぜ転出??

◇土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略より

子育て世代の転出の原因は？



仕事と子育ての両立が難しいのではないだろうか…??

子育て世代の実際の声

◇保育所送迎に関する生の声～現地ヒアリングより～

@ジョイフル本田 荒川沖店



会社に行くだけでも大変なのに、
もう1箇所行く場所が増えるのです

車がないと送迎ができない！

保育所で子供が熱を出すと大変...
仕事抜けられないときは困ります



働く夫婦へ、
送ろう！ エールとわが子



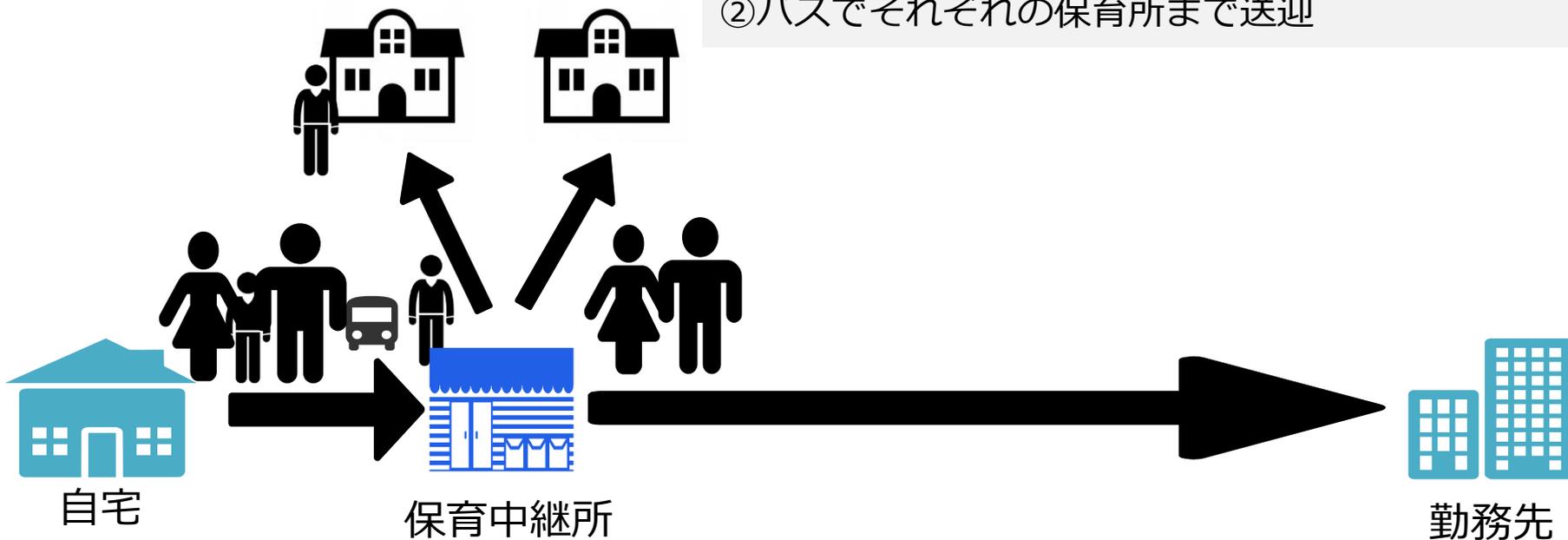
Tsuchiura City Hall

保育中継所設置プロジェクト

朝・行き

—サービス内容—

- ①朝8時までに保育中継所に子供を連れてくる(登園)
- ②バスでそれぞれの保育所まで送迎

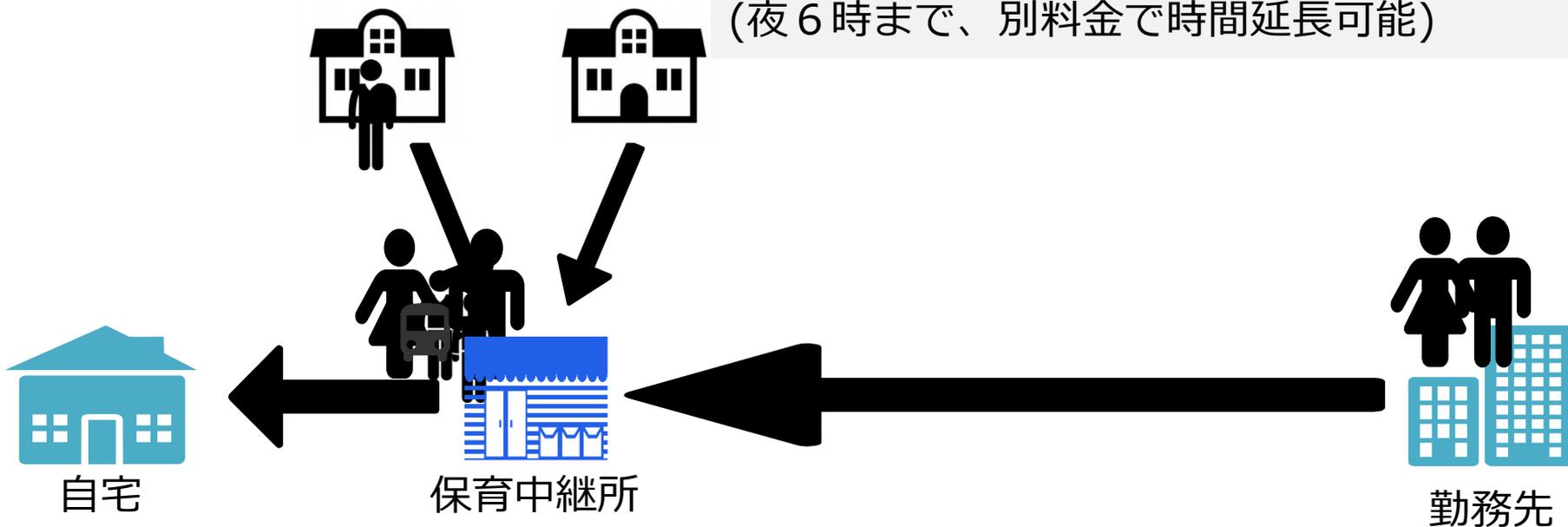


子供の送迎&通勤・お出掛けを
好きな時間に同時に済ませることができる

保育中継所設置プロジェクト

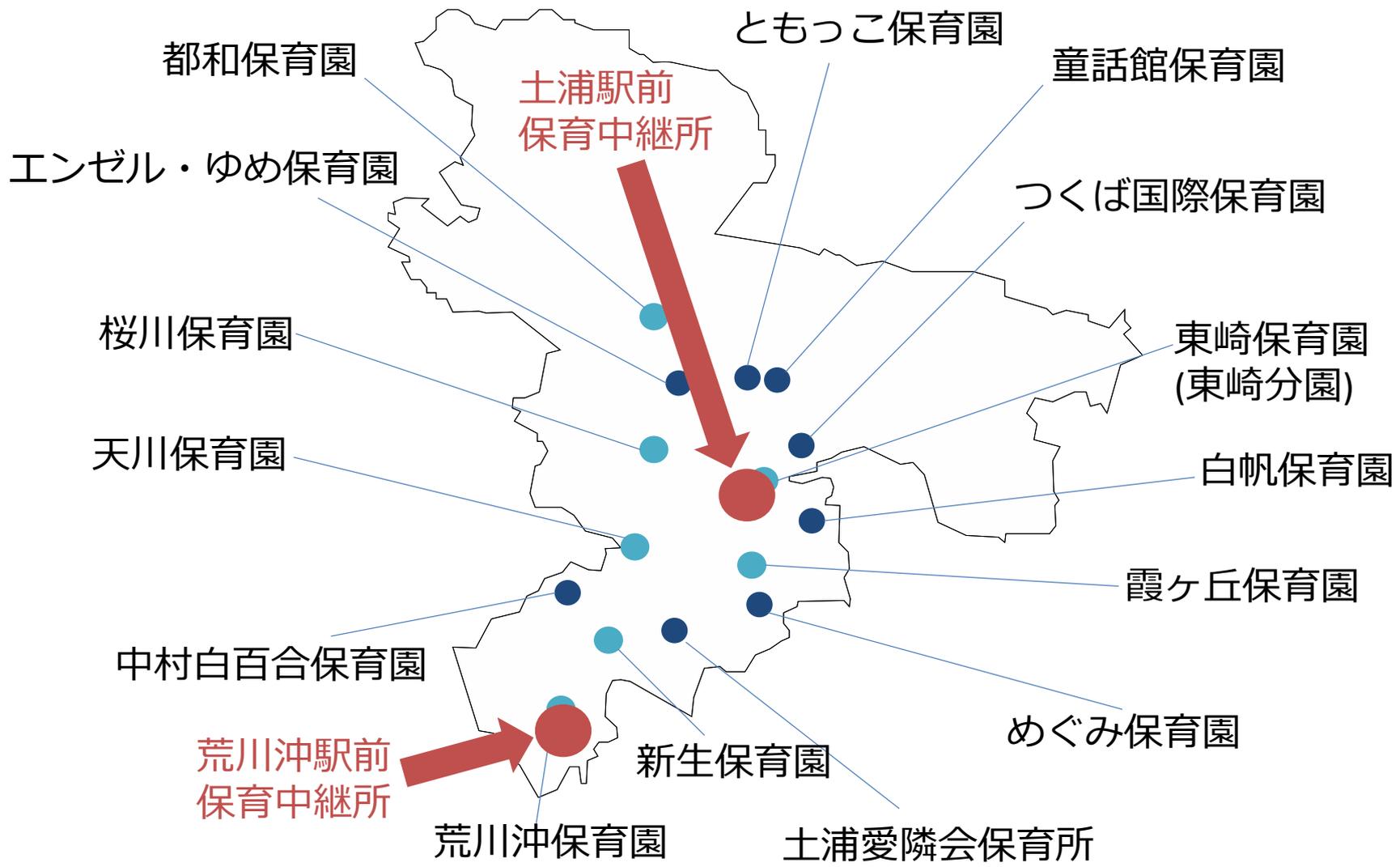
夜・お迎え

- ③各保育所から駅前ステーションへ子供を送迎
- ④保護者が駅前ステーションにお迎え
(夜6時まで、別料金で時間延長可能)



帰りに保育園に寄らずに、
退社・お出掛けのタイミングでお迎えができる

土浦市内の対象保育園



保育中継所 設置場所候補

◇ 土浦駅近辺のスーパーマーケット



送迎と一緒に買い物ができる

車通勤者、電車通勤者の
両方の需要に対応する送迎ができる



<https://www.bing.com/images/search?view>



<http://ibarakisaeki.saeki-selvhd.jp/store/マルヘイ荒川沖店/>

目指すもの



子育てといえば土浦
を目指して....



育

×

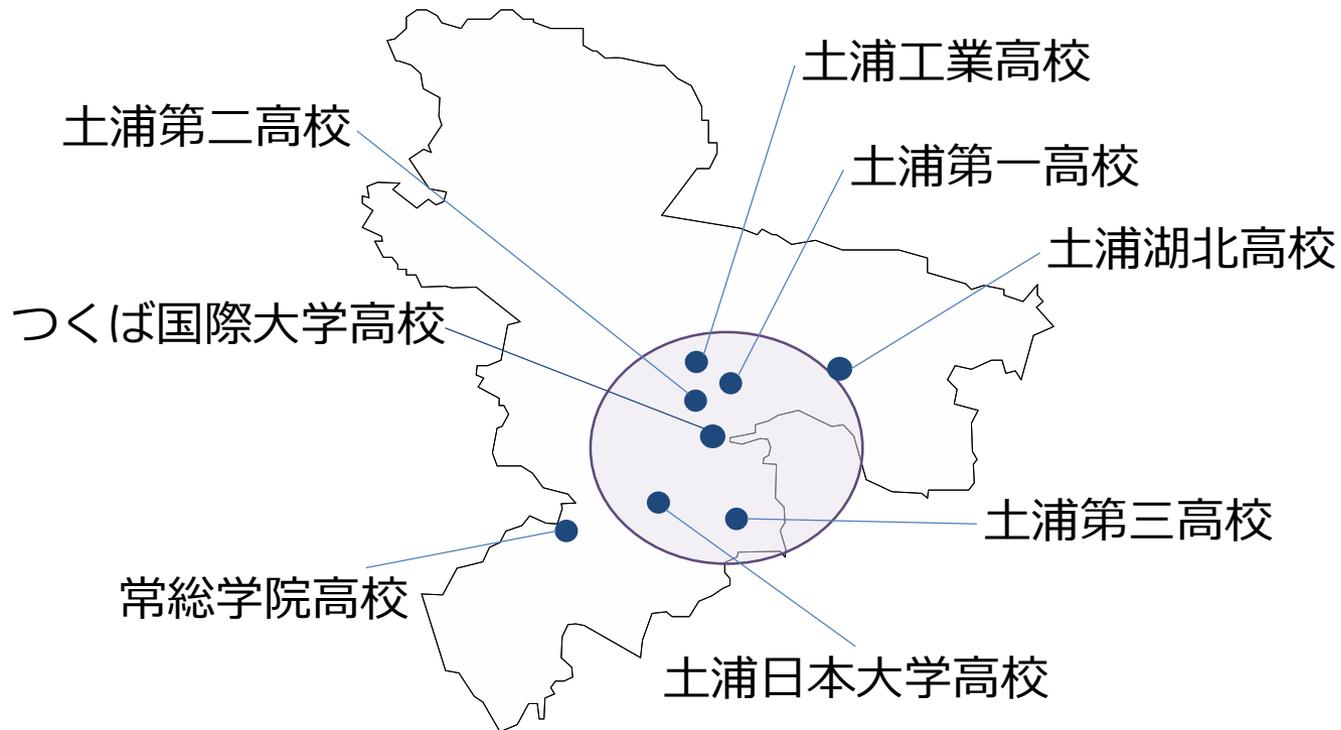
中央

～学生主体の地域交流がまちを育む～

背景・現状

課題

市民活動への若者の参加が少ない
中心市街地の空洞化・賑わいの喪失



高校生を対象とした 活性化の仕掛けを！



背景・現状



学生をターゲットにする3つ理由

◆ 口コミ効果が期待できる

- 友達を連れてのイベント参加・勧誘

◆ 毎年同じ学生人口

- 受験定員分の学生人口が毎年流入・流出する。
- 市内の学生人口数が将来的にも一定となる。

◆ 若者の奇抜なアイデア

- イベントチラシのデザインコンペなど。

高校生を対象とした 活性化の仕掛けを！

学生・企業・地域が集える交流の場

Gather

学生

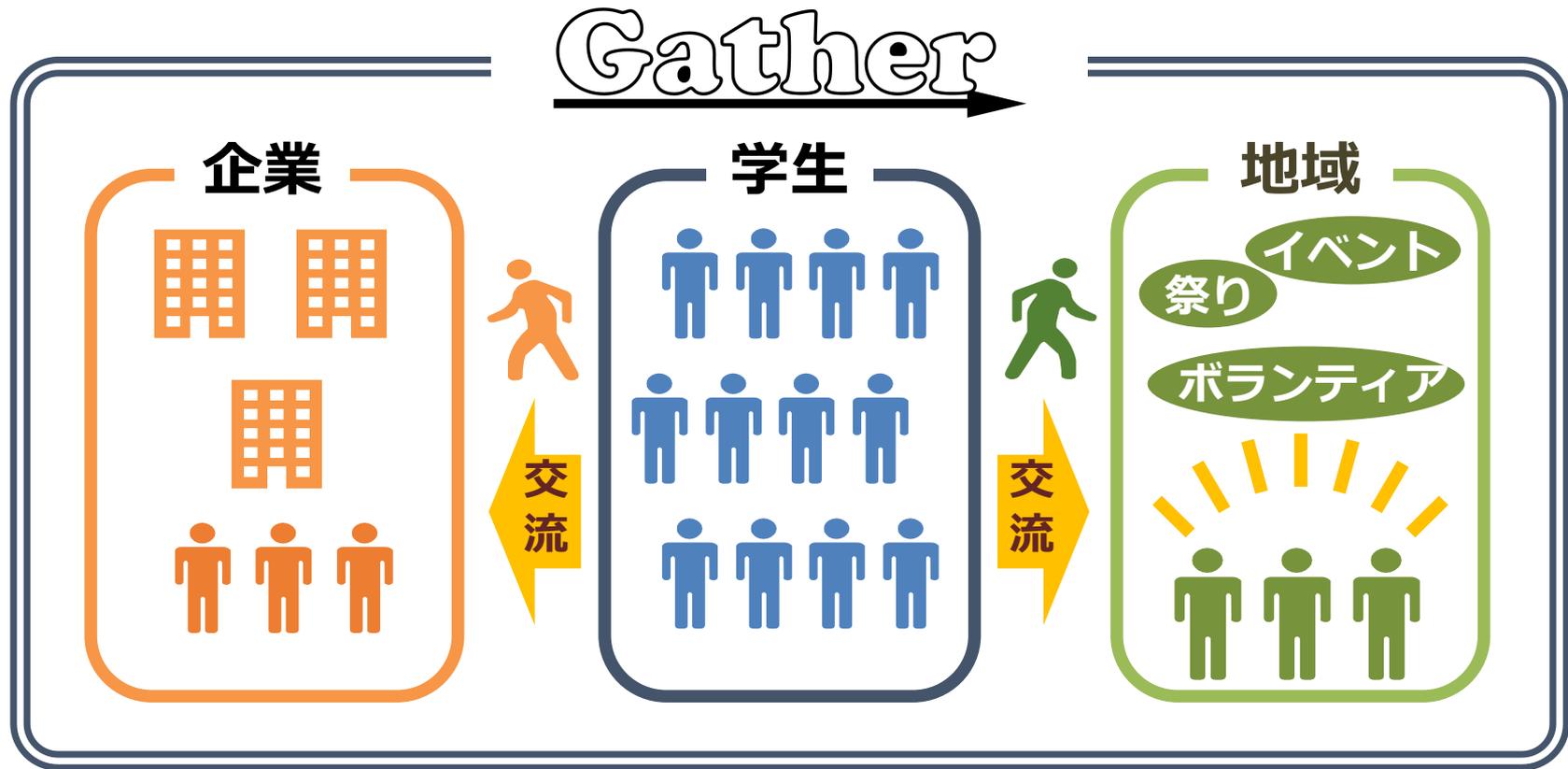
×

企業

×

地域

Gather とは？



学生を中心とした
地域交流

課題

市民活動への若者の参加が少ない
中心市街地の空洞化・賑わいの喪失

Gather とは？

◇場所

モール505の
空き店舗を利用

◇機能

勉強ラウンジ

地域貢献活動支援

企業と学生への就業支援



勉強ラウンジ



地域貢献活動支援

企業と学生への就業支援



茨城県 県南生涯学習センター

利用者の声（現地調査より）

◆勉強している学生が多い

溢れてしまい、
座れないこともある

会話・飲食スペースが
限られている

駅を利用する高校生が
勉強のために立ち寄る

勉強できるスペース
飲食・会話ができる空間をうみだす

勉強ラウンジ



静かに勉強が
できるエリア

自由なスタイルで
勉強ができるエリア
(飲食可)

グループワーク
エリア



協働のまちづくりシンポジウム

2018/01/27(土)

@茨城県県南生涯学習センター

内容

市民活動団体のポスターセッション

→ボランティア団体、NPO法人など
様々な団体の活動の報告

例：霞ヶ浦のゴミ拾い、水質調査

障害者団体によるレンコンストラップづくりなど



しかし実際に話を聞くと...

若者の地域へのかかわりが少なく

若者の参加を求めていることがわかった

地域貢献活動支援

◇ ボランティアコーディネーター



学生の声

- ◆ 活動自体を知らない
- ◆ 時間が合わない
魅力的な内容でない
- ◆ やりたい活動が見つからない

学生の地域活動への参加をうながす！

勉強ラウンジ



地域貢献活動支援

企業と学生への就業支援



企業と学生への就業支援

名簿作成

勉強라운ジの利用者などの Gatherに集う学生の名簿を作成し 管理をおこなう



セミナー&メール

県外の大学に進学した学生に対して、土浦での就職や企業についての講演や 情報配信をおこなう



インターン

マッチング

求人情報の提供

地元企業との接点を増やす！

効果

Gather

勉強ラウンジ

地域貢献活動支援

企業と学生への就業支援

学生を集める

学生×地域

学生×企業

学生中心の
地域交流

解決

- ✓ 賑わいの創出
- ✓ 空きテナントへの入居（空洞化）

育

×

水辺

～水資源を生かし健康と景観を育む～

背景・現状

課題

水辺の景観がよくない
資源を活かしきれていない

市民満足度調査において...
「土浦」ならではの、
まだ活かされていないと思うものは？

1位 霞ヶ浦 16.8%

2位 花火大会 12.5%

3位 れんこん 7.9%

桜川と霞ヶ浦を活かした水辺計画を！

調査からわかったこと

◇現地調査

桜川の現状

現地調査にてランニングや
犬の散歩としての利用が多く見られる



◇計画

土浦市かわまちづくり計画

▶ H26~H30にかけ土浦市の
水辺を整備する計画

桜川の一部が遊歩道として
整備されている



景観・遊歩道の整備

提案
内容

桜川から霞ヶ浦にかけて連続的な遊歩道を整備



市民にウォーキングなどの運動をうながす

ウォーキングによるまちづくり



ウォーキングによる健康への効果

	男性	女性
がん死亡リスク	20% 減	31% 減

国立がん研究センター「身体活動量と死亡との関連について」

長生き

介護予防

メタボ対策

ウォーキングによる市民の健康づくり

水辺計画①

遊歩道整備のイメージ図

Before



桜川のにぎわいと景観上の魅力をうみだす

霞ヶ浦に水辺カフェの建設

提案
内容

バイオパークに**市民が集える憩いの場**“リバーサイド土浦”

土浦バイオパーク

霞ヶ浦沿い・土浦駅より
500m東に位置する。
浄化施設として機能するも
H21年に閉園する。



←現在活用は無く空き地に



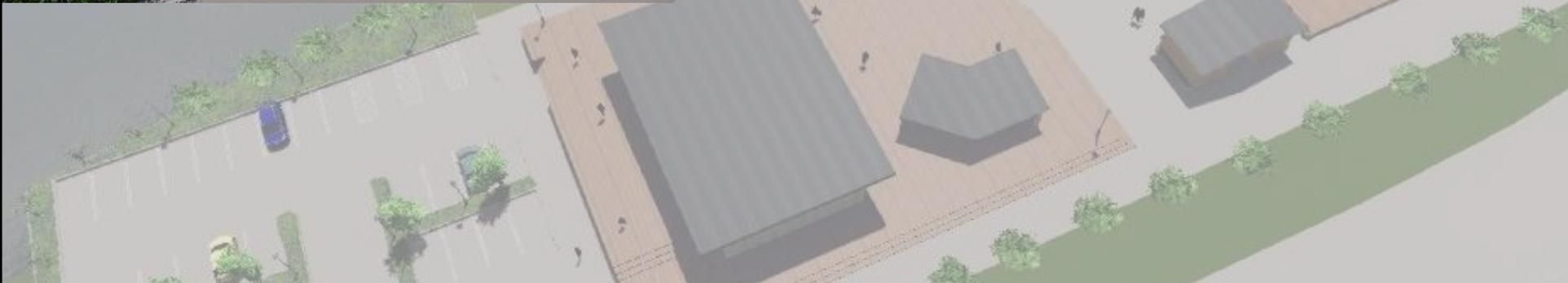
リバーサイド土浦の機能



駐車場



広場



カフェ&バー



足湯





水辺計画のまとめ



解決

水資源を活かし健康と景観を育む

育

×

新治

～まち全体で農業を育む～

背景・現状

課題

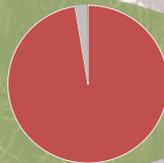
採算性の低さ 後継者不足・新規就農者不足

◇現状

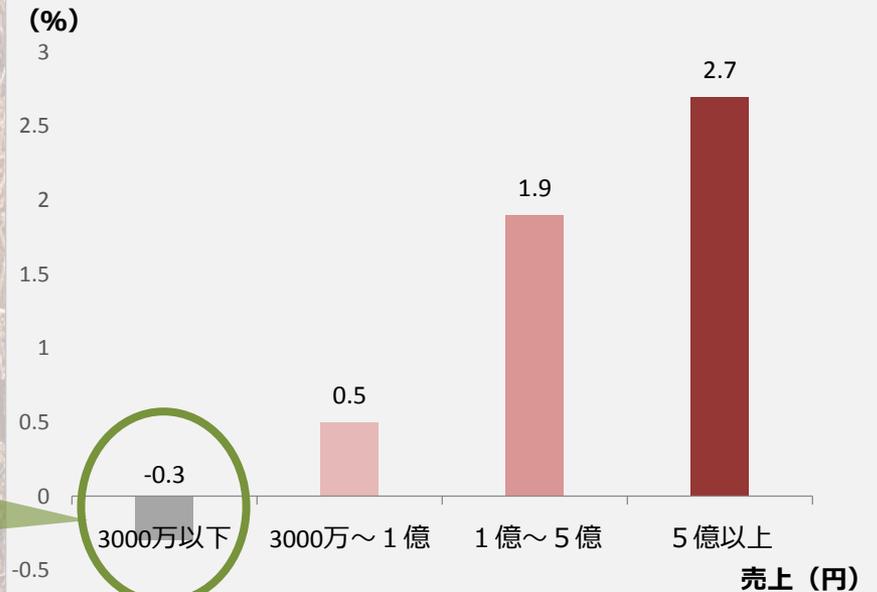
個人経営が主流である

中小企業庁の調査より
小規模農家は赤字になる傾向

土浦市内の農家のうち
97%がこれに該当



売上高規模別 総資本純利益率



集落営農の推進

◇集落営農とは

農業生産全体または一部を協力して取り組むこと



後継者の育成

生産コストが下がる

放棄地が減る



市内で畑作の集落営農なし

計画の流れ

形成期



- ◆ 集落営農を開始するための準備期間

成熟期



- ◆ 集落営農開始

発展期



- ◆ 法人化
- ◆ 6次産業化

計画の流れ

形成期



- ◆ 集落営農を開始するための準備期間

成熟期



- ◆ 集落営農開始

発展期



- ◆ 法人化
- ◆ 6次産業化

集落営農がされない理由



◇ヒアリング調査より

形成期



成熟期



発展期



 JA土浦 酒井さん |  農家 スギさん

 集落は存在する

 組織化のまとめ役がほしい

  **合意形成**ができれば組織化もできると思う

合意形成の工夫により集落営農を目指す



ヨリアイ農場

若手の農家が集まって
JAの事業としてH26年に設立

- 農業体験
- 食育活動 などを展開



土浦の農業をもっと盛り上げたい！

形成期

提案
内容

合意形成のまとめ役として
ヨリアイ農場のメンバー農家を選定

形成期



成熟期



発展期



意欲のある農家に
集落で農業ができるように
引っ張ってもらおう

計画の流れ

形成期



- ◆ 集落営農を開始するための準備期間

成熟期



- ◆ 集落営農開始

発展期



- ◆ 法人化
- ◆ 6次産業化

集落営農



形成期



成熟期



発展期



農機の共同利用



コスト削減

適正に応じた役割分担



作業効率化

採算性アップ

集落内で

技術研修のサイクルを回す

技術の伝承



後継者
新規就農者の
不足解消

計画の流れ

形成期



- ◆ 集落営農を開始するための準備期間

成熟期



- ◆ 集落営農開始

発展期



- ◆ 法人化
- ◆ 6次産業化

発展期

提案内容 リバーサイド土浦に
農家カフェを開設

形成期



成熟期



発展期



新鮮な野菜を使った
こだわりの料理の提供

地域女性による運営・利用
女性の雇用増加
情報発信力の期待

女性を中心に市民みんなが農業を支える

効果

形成期



若手農家が農業を盛り上げる！

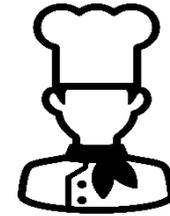
課題の解決

採算性の低さ
後継者・新規就農者不足

成熟期



発展期



市民が農業を支える！

さらなる発展

6次産業化

まとめ



育むまち土浦
～ひとがまちを、まちがひとを育む～

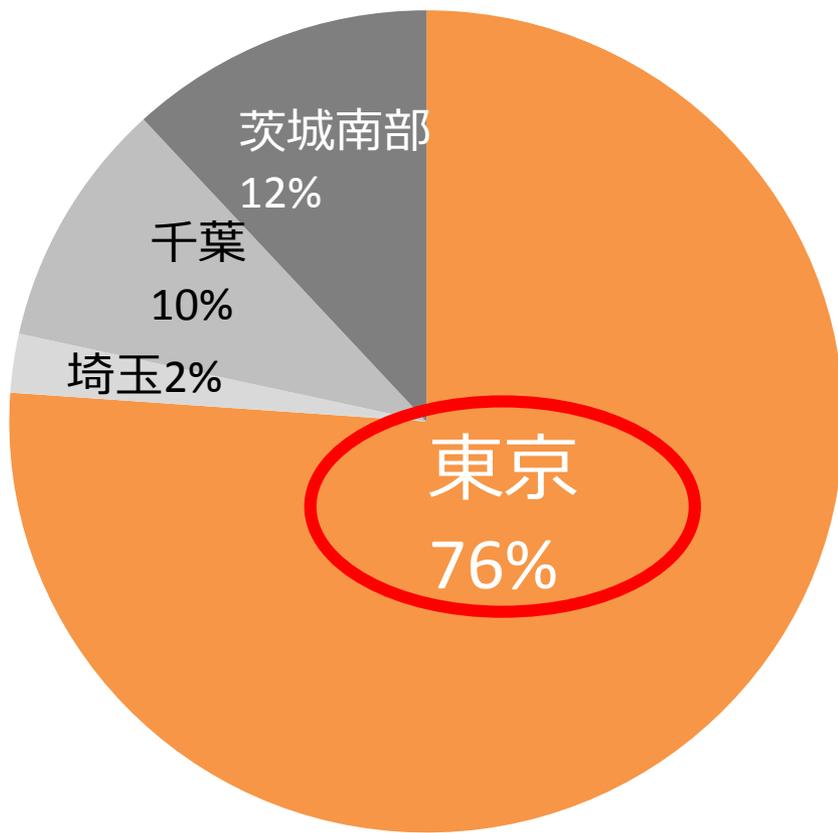


ご清聴ありがとうございました

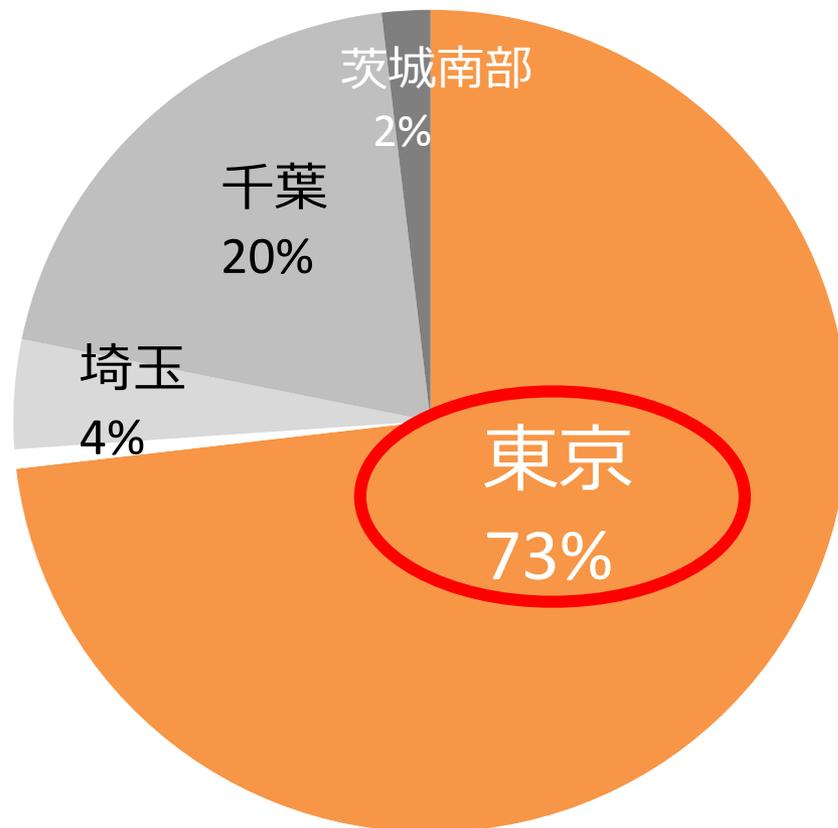
パーソントリップ調査



荒川沖駅の鉄道利用者通勤先



流山市の鉄道利用者通勤先



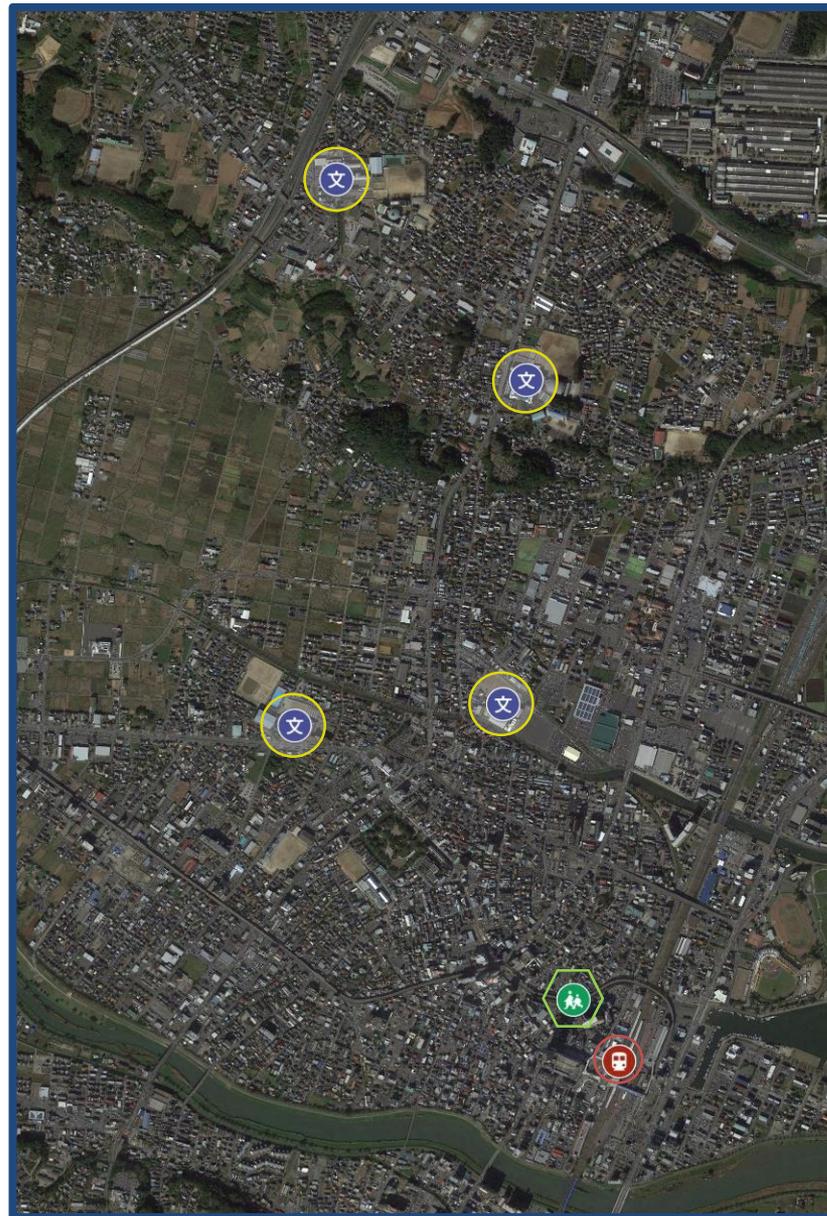
流山市と荒川沖の転出者の類似より、
流山市の政策は荒川沖でも需要を見込める

モール505と高校の分布

✓ 土浦駅からモール505を挟んで4つの高校が分布

- 土浦第一高校
- 土浦第二高校
- 土浦工業高校
- つくば国際大学高校

モール505は
駅と高校の間に立地



モール505と高校生の動線

高校生の登校時の動線

- ✓ モール505を通過
- ✓ 徒歩と自転車で2つの動線
- ✓ 4つの高校の生徒が通過
- ✓ 7-8時がラッシュアワー

モール505は
高校生の通学路





◇ 学生が参加しない理由



学生の声

- ◆ 活動自体を知らない
- ◆ 時間が合わない
魅力的な内容でない
- ◆ やりたい活動が見つからない

地域貢献活動支援

◇ボランティアコーディネーター



学生の声

- ◆活動自体を知らない
- ◆時間が合わない
魅力的な内容でない
- ◆やりたい活動が見つからない

解決策

広める

広告を勉強ラウンジに貼る

合わせる

時間や内容を学生に合わせる

つなげる

学生に最適な活動を提案する

地域貢献活動支援

◇ボランティアコーディネーター



学生の声

- ◆活動自体を知らない
- ◆時間が合わない
魅力的な内容でない
- ◆やりたい活動が見つからない

解決策

広める

広告を勉強ラウンジに貼る

合わせる

時間や内容を学生に合わせる

つなげる

学生に最適な活動を提案する

地域貢献活動支援

◇ボランティアコーディネーター

地域団体

調整

ボランティア
コーディネーター

要望

学生



学生の声

解決策

◆活動自体を知らない

広める

広告を勉強ラウンジに貼る

◆時間が合わない
魅力的な内容でない

合わせる

時間や内容を学生に合わせる

◆やりたい活動が見つからない

つなげる

学生に最適な活動を提案する

地域貢献活動支援

◇ボランティアコーディネーター

地域団体

依頼



ボランティア
コーディネーター

要望



学生



学生の声

解決策

学生の地域活動参加をうながす！

◆やりたい活動が見つからない



つなげる

学生に最適な活動を提案する

時間や内容を学生に合わせる

かわまちづくり計画との相違点

◇川口二丁目地区との比較

川口二丁目地区

本提案

対象	観光客向け	市民向け
拠点	サイクリング拠点	ジョギング拠点
規模	5.2ha	0.5ha
土浦駅からの 所要時間	徒歩16分	徒歩10分

目的

市民が日常的に利用できるちょっとした憩いの場

背景・現状

課題

採算性の低さ

後継者不足・新規就農者不足

◇農家の声

がんばっても赤字。
経営成り立たない。

人手が足りない。

後継者がいない。



50代女性



50代男性

集落営農がされない理由

◇ヒアリング調査より



JA土浦 酒井さん

 集落は存在する

 **合意形成**さえできれば
可能だろう

農家 スギさん

 組織化の
まとめ役がほしい

 **合意形成**ができれば
組織化もできると思う

合意形成の工夫により集落営農を目指す

法人化

◇農業法人

企業として農業を営む法人

農業法人数の推移



株式会社に注目

農家以外も参加できる
幅広い業務ができる



◇メリット

- 経営がしっかりする！
- 信用力が増す！
- 融資を受けやすくなる！

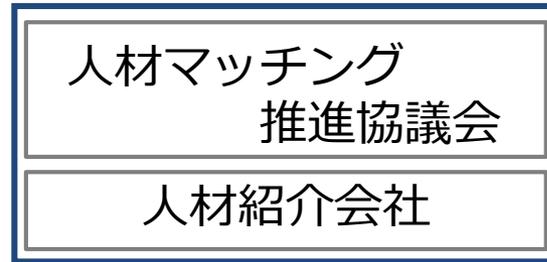
法人化の流れ



◇経営者の呼び込み



農業界と経済界の人材マッチングの利用



▶ 書類作成のような事務作業・関連事業の経営

◇学生の呼び込み

Gather の活用

▶ 新規就農者・インターン生の勧誘